



済生会熊本病院 連携広報紙

# SAIKURU

サイクル

CONTENTS

- トピックス
- 2月外来医師一覧表
- 休診のお知らせ
- インフォメーション
- 地域の医療機関の紹介

## SAIKURUとは

地域及び連携医療機関とのつながり(サークル、サイクル)を大事に、患者さんを中心とした医療を提供していきたいという意味を込めています。

累計17回、通算827人が参加

## 胸部X線を読み解く会を開催しています。

呼吸器内科では、事務部の人材開発室と共同で「胸部X線を読み解く会」を毎年度2回、開催しています。本会の目的は、即興的に胸部X線読影のハウツーを学ぶのではなく、胸部X線所見を形成する「病理学的背景を理解することで、胸部X線所見の本質の理解と着眼点を学ぶ」ことです。解剖構造に基づく所見の理解を促し、応用力のある読影力を身につける効果が期待できます。

2010年から始めた本会の開催回数は、2017年10月で通算17回を数え、会を重ねる毎に院外から参加いただく数も増加し、今年度は、県内外から総聴講者数134名(院内53名、院外77名、医学生4名)と多数の参加がありました。

フィルムレスとなり、胸部X線画像がデジタル化した現在では、胸部X線像は医師だけの評価対象ではなく、多職種が共有できる医療情報の一つとなっています。

本会の参加職種も各専門分野の医師だけでなく、放射線技師や看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士等、多職種の参加があり、各職種における関心の高さがうかがえました。2018年度も継続して実施する予定です、開催日等は随時当院のホームページにて公開予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



呼吸器内科部長  
一門 和哉

専門分野:呼吸器一般、特に急性呼吸促進症候群(ARDS)、間質性肺疾患



▲2017年10月21日開催時の様子

福井大学特命教授の伊藤春海先生をお迎えし、2017年度は2017年6月10日、10月21日に2回実施しました。2014年度から増やした3面のスクリーンを用い、伊藤先生自ら開発に携われたソフト(MCAT)を使って講義を行っていただきました。実際の胸部X線を伸縮自在に表示することで、X線を読影するポイントが明確になり、着眼点の理解を高める効果をもたらします。医学生や医療技術放射線学科の学生さんの参加もあり、学校での授業や教科書にはない伊藤先生の講義に接し、この分野の興味を新たにしている様子でした。(担当:呼吸器内科、人材開発室)

済生会 胸部X線を読み解く会

検索

### Information

- 呼吸器内科では、紹介元への返書率を毎月確認しており、返書率の平均は95~100%を推移しております。医師にデータを周知し、紹介医への返書率100%と、かかりつけ医への診療情報提供書の作成率向上をめざします。
- 2016年度実施の肺がん手術件数のうち、99%を腹腔鏡にて実施しました(n=148)

# Information

お知らせ

## 心臓血管外科が紹介されました。

1月27日(土)放送の「KKT医療ナビ!Dr. テレビたん」で当院心臓血管外科について紹介されました。放送内容は「KKT医療ナビ!Dr. テレビたん」のホームページからご覧いただけます。

「Drテレビたん」で検索するか、下記QRコードからご覧いただけます。



Drテレビたん

検索 

<https://www.dr-tvtan.jp/>



▲撮影の様子

**済生会熊本病院が  
テレビで紹介されます**

**KKT医療ナビ! 1月27日(土) ごご4時放送**  
「KKT!医療ナビDr.テレビたん」にて放送されます。



大動脈瘤に対する  
スタンダード内挿術や、  
小さな切開で心臓手術を  
行うMICSなど、  
「心臓手術の最前線」  
について 

Dr. テレビたんのサイトがスマートフォン・タブレットから簡単に見やすくなりました

ホームページもぜひ  
ご覧ください。 **KKT ドクターテレビたん**  **検索** 

<https://www.dr-tvtan.jp/>